

2026年 大学生の就職率98.0%！ 過去2番目の高さを維持

男女ともに高水準。女子は過去最高

旺文社 教育情報センター 2026年6月15日

5月22日、文部科学省と厚生労働省は、2026年3月卒業の大学生・短大生などの就職率を公表した。4月1日現在の就職率は、大学生98.0%（前年と同）、短大生97.4%（対前年0.4ポイントアップ）だった。本調査は、就職状況などの実態を把握することで就職に関する問題に対処するため、1996年度（1997年4月就職者）から実施されている。

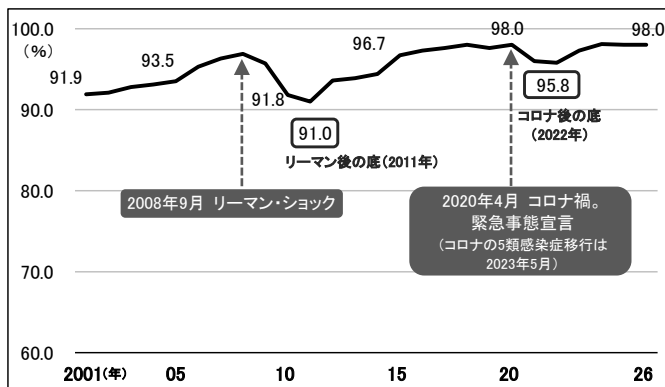
◎文部科学省・厚生労働省「大学等卒業者の就職状況調査」の概要

- ・調査依頼先＝設置者・地域を考慮して抽出。
- ・調査方法＝各校で調査対象学生を抽出。電話・面接などで就職希望の有無、就職状況などを調査。
- ・調査時期＝10月1日、12月1日、2月1日、4月1日。
- ・就職率＝就職希望者に対する就職者の割合。
※2025年度（2026年就職者）の調査数
 - ・国立大21校、公立大3校、私立大38校、短大20校、高等専門学校10校、専門学校（専修学校[専門課程]）20校。
 - ・対象者数＝大学・短大・高専…計5,690人、専門学校…560人（短大は女子のみ、高専は男子のみを抽出）。過年度も同様の調査方法・規模で実施。

■大卒就職率、高水準を維持

文科省・厚労省の調査では、2025年3月大学卒業者の就職率（就職者÷就職希望者）は98.0%（前年と同）。1996年度の調査開始以降の最高、2023年度の98.1%に次いで過去2番目に高い数値を維持した。設置者別では国公立大97.9%（対前年0.3ポイントアップ）の一方、私立大は98.1%（前年と同）で過去最高が続いた。男女別では男子97.5%（対前年0.1ポイントダウン）に対して、女子は98.7%（同0.2ポイントアップ）で過去最高だった。文系・理系別では文系98.0%（同0.2ポイントダウン）、理系は98.1%（同0.8ポイントアップ）でいずれも高い水準をキープした。

◆大学生の就職率[全体]

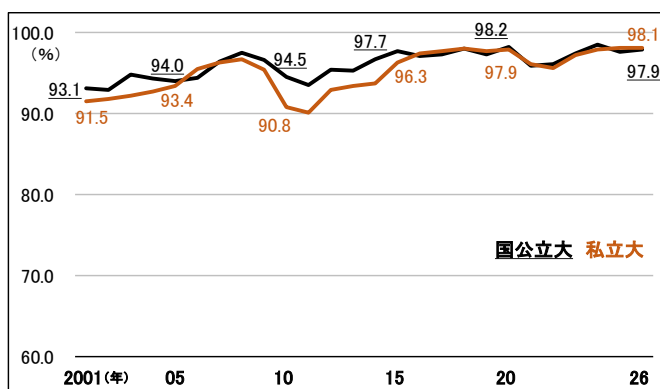


◎以下、本ページ以降、全グラフとも共通。
※文部科学省・厚生労働省「就職状況調査」より作成。
※各年4月1日現在の就職率。[例]2026年は、2025年度卒業生の2026年4月1日現在の就職率。
※就職率＝就職希望者に対する就職者の割合。

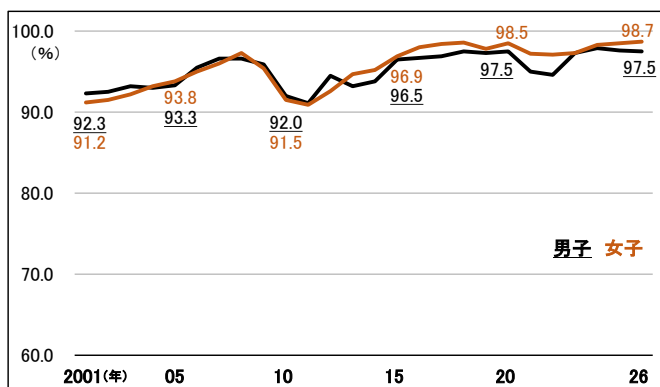
就職状況は景気や社会情勢に影響を受ける。とりわけ近年は、企業の人員不足感が継続して高い（日銀短観 [雇用人員判断DI]）。本調査は抽出調査ではあるものの、現状、大学生の就職状況は堅調に推移していることが、うかがえる。

以下、就職率に関する区分別の推移グラフを掲載。

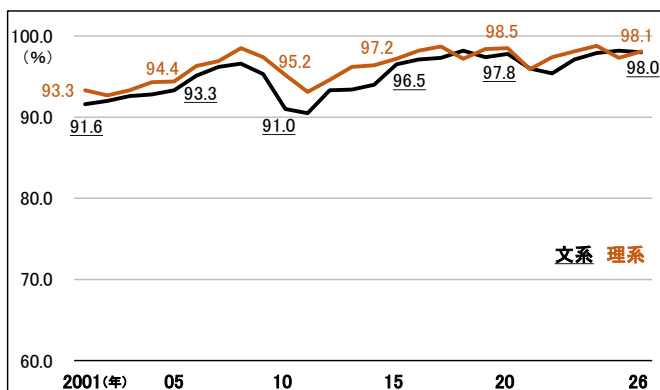
◆大学生の就職率[国公・私立大別]



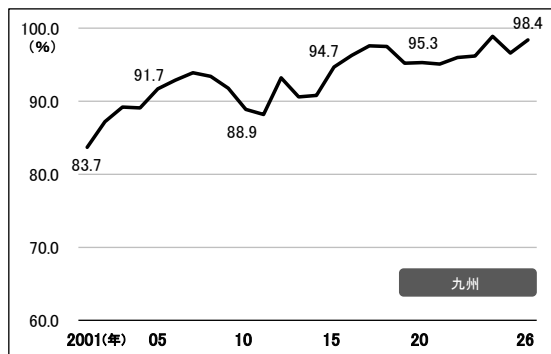
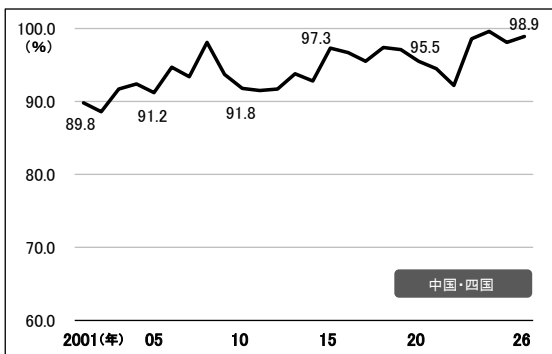
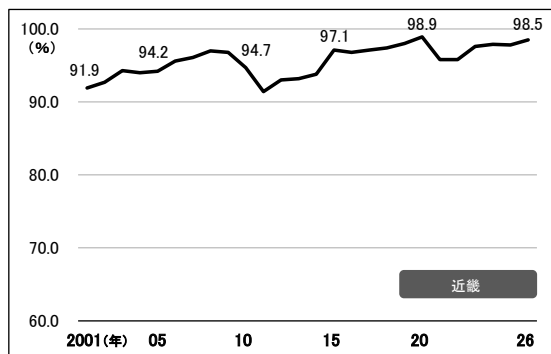
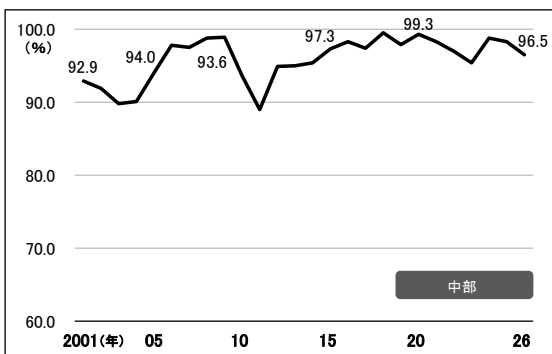
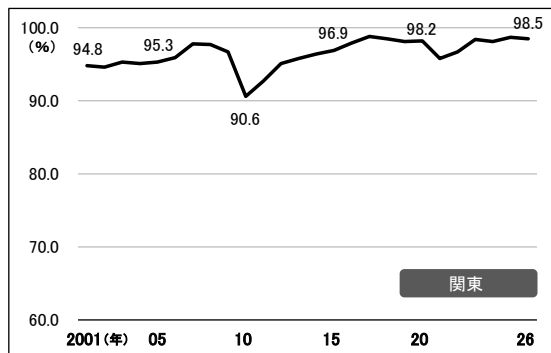
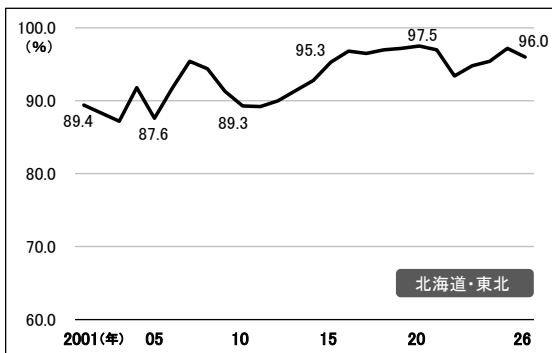
◆大学生の就職率[男女別]



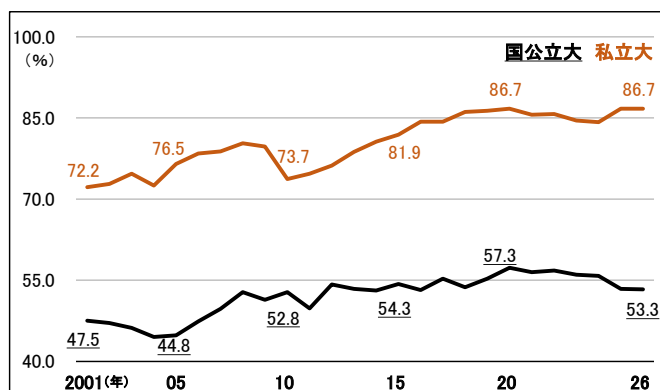
◆大学生の就職率[文系・理系別]



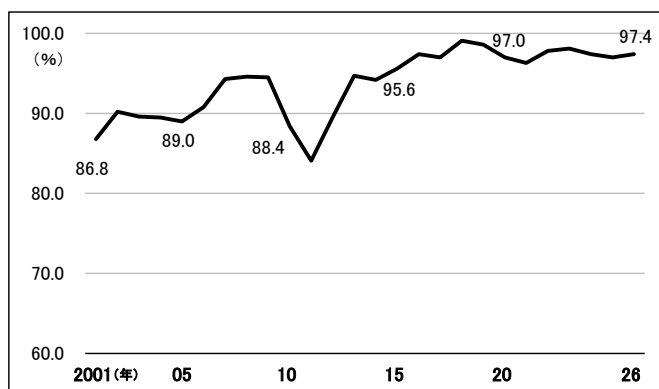
◆大学生の就職率[エリア別]



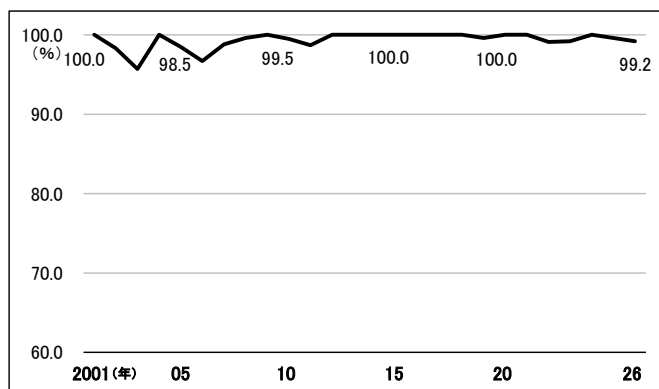
◆大学生の就職希望率
[国公・私立大別]



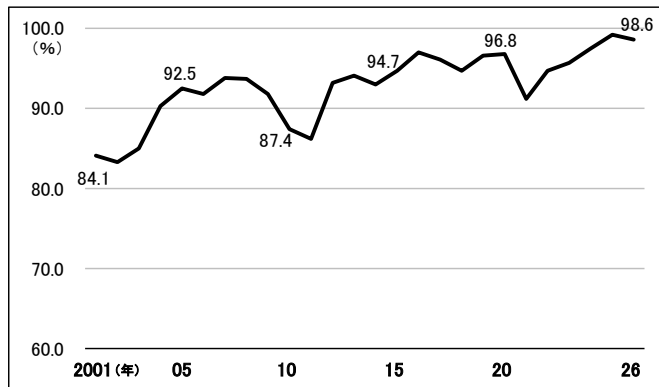
◆短大生[女子]の就職率



◆高専生[男子]の就職率



◆専門学校生の就職率



(2026.6 加納)